



# URACからの情報提供（平成29年4月）

## JST：科学技術振興機構

大型基礎研究 JST：戦略的創造研究推進事業 CREST・さきがけ  
<http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html>

産学連携 JST：A-STEPⅡ育成シリーズ  
<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h29stage2-1.html>

産学連携 JST：地域産学バリュープログラム  
<http://www.jst.go.jp/mp/koubo.html>

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)

## 公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

### 1) 大型基礎研究

**JST : 戦略的創造研究推進事業**

**CREST・さきがけ**

<http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html>

**AMED : 革新的先端研究開発支援事業**

**CREST・PRIME**

### 2) 産学連携

**JST : A-STEPⅡ育成シリーズ、地域産学バリュープログラム**

**AMED : ACT-M・ACT-MS**

**NEDO : 各種公募**

## 【公募予告】

### 公募期間

平成29年4月中旬～6月上旬 (予定)

平成29年度 **新規募集領域** (CREST さがけ)

### 【戦略目標】

- ナノスケール熱動態の理解と制御技術による革新的材料・デバイス技術の開発
- 実験とデータ科学等の融合による革新的材料開発手法の構築
- ネットワークにつながれた環境全体とのインタラクションの高度化
- 量子技術の適用による生体センシングの革新と生体分子の動態及び相互作用の解明
- 細胞外微粒子により惹起される生体応答の機序解明と制御

## 平成29年度募集予定の既存研究領域

### CREST

- 光の特性を活用した生命機能の時空間制御技術の開発と応用
- 計測技術と高度情報処理の融合によるインテリジェント計測・解析手法の開発と応用
- 量子状態の高度な制御に基づく革新的量子技術基盤の創出
- イノベーション創発に資する人工知能基盤技術の創出と統合化
- 新たな光機能や光物性の発現・利活用を基軸とする次世代フォトニクスの基盤技術
- 多様な天然炭素資源の活用に資する革新的触媒と創出技術
- 環境変動に対する植物の頑健性の解明と応用に向けた基盤技術の創出

### さきがけ

- 生命機能メカニズム解明のための光操作技術
- 計測技術と高度情報処理の融合によるインテリジェント計測・解析手法の開発と応用
- 量子の状態制御と機能化
- 新しい社会システムデザインに向けた情報基盤技術の創出
- 光の極限制御・積極利用と新分野開拓
- 微小エネルギーを利用した革新的な環境発電技術の創出
- 革新的触媒の科学と創製
- 理論・実験・計算科学とデータ科学が連携・融合した先進的マテリアルズインフォマティクスのための基盤技術の構築
- フィールドにおける植物の生命現象の制御に向けた次世代基盤技術の創出
- 情報科学との協働による革新的な農産物栽培手法を実現するための技術基盤の創出

### ACT-1

- 情報と未来

## 【募集説明会日程】

○ 【CREST】イノベーション創発に資する人工知能基盤技術の創出と統合化

○ 【CREST】H29年度発足領域（予定）

日時：4月19日（水）9:30～11:30

場所：科学技術振興機構（JST）東京本部別館1階ホール（東京都千代田区五番町7K's五番町）

○ 【さががけ】新しい社会システムデザインに向けた情報基盤技術の創出

○ 【さががけ】H29年度発足領域（予定）

○ 【ACT-I】情報と未来

日時：4月19日（水）14:00～17:00

場所：科学技術振興機構（JST）東京本部別館1階ホール（東京都千代田区五番町7K's五番町）

○ 【CREST】量子状態の高度な制御に基づく革新的量子技術基盤の創出

○ 【さががけ】量子の状態制御と機能化

○ 【さががけ】H29年度発足領域（予定）

日時：4月18日（火）14:00～16:20

場所：科学技術振興機構（JST）東京本部別館1階ホール（東京都千代田区五番町7K's五番町）

## 【募集説明会日程】

- **【さきがけ】 微小エネルギーを利用した革新的な環境発電技術の創出**

日時：4月24日（月）12:30～14:00

場所：科学技術振興機構（JST）東京本部別館4階会議室F（東京都千代田区五番町7 K's 五番町）

- **【CREST・さきがけ複合領域】 計測技術と高度情報処理の融合による**

**インテリジェント計測・解析手法の開発と応用**

日時：4月24日（月）14:30～16:00

場所：科学技術振興機構（JST）東京本部別館4階会議室F（東京都千代田区五番町7 K's 五番町）

- **【さきがけ】 理論・実験・計算科学とデータ科学が連携・融合した**

**先進的マテリアルズインフォマティクスのための基盤技術の構築**

日時：4月24日（月）16:30～18:00

場所：科学技術振興機構（JST）東京本部別館4階会議室F（東京都千代田区五番町7 K's 五番町）

- **【CREST】 新たな光機能や光物性の発現・利活用を基軸とする次世代フォトニクスの基盤技術**

- **【さきがけ】 光の極限制御・積極利用と新分野開拓**

日時：4月26日（水）13:30～16:00

場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター3階ホール3C（東京都新宿区市谷八幡町8番地）

## 公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

### 1) 大型基礎研究

JST : 戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED : 革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

### 2) 産学連携

JST : A-STEP II 育成シリーズ

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h29stage2-1.html>

JST : 地域産学バリュープログラム

<http://www.jst.go.jp/mp/koubo.html>

AMED : ACT-M・ACT-MS

NEDO : 各種公募

大学等で生まれた国民経済上重要な科学技術に関する研究成果を実用化することにより、社会へ還元することを目指す技術移転支援プログラム

大学等の研究成果

A-STEP公募窓口

## ステージⅠ

非競争領域でのシーズ発掘・可能性検証

**産業ニーズ対応タイプ**  
産業界からのニーズの反映  
～2,500万円/年・課題

**戦略テーマ重点タイプ**  
有望な基礎研究成果の取り込み  
～5,000万円/年・課題  
最長6年

## ステージⅡ

シーズ技術の可能性検証・  
実用性検証  
産業分野への技術移転

**シーズ育成タイプ  
(FS含む)**  
JST支出総額  
2,000万円～5億円  
2～6年  
マッチングファンド

## ステージⅢ

マッチングファンド・開発  
費返済による実用化開発

**NexTEP-Aタイプ**  
総額  
1億円～15億円  
最長10年  
開発成功時年賦返済

**NexTEP-Bタイプ**  
JST支出総額  
～3億円  
最長5年  
マッチングファンド

## ステージⅡ

※**マッチング係数**

資本金10億円以下の企業：4倍  
資本金10億円以上の企業：2倍

※**大学が所有する知財を活用する提案**

## 出口機能の強化

金融機関等との連携を強化し有望な開発成果への投融資を引き出す

株式会社 産業革新機構  
JFC 日本政策金融公庫  
中小機構

研究成果を  
円滑に実用化

出資型新事業創出支援プログラム  
**SUCCESS**

## 出資機能の活用

創業段階等のベンチャー企業を対象に金銭等出資、人的・技術的支援

平成29年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 公募説明会資料 (ステージⅡ)

## A-STEPの特徴

- ✓ 大学等の研究成果をコア技術とする研究開発が支援対象
- ✓ 研究開発の状況に応じて、どのステージからでも応募可能
- ✓ **医療分野を除く**、幅広い分野の提案に対応

## 平成29年度の募集について

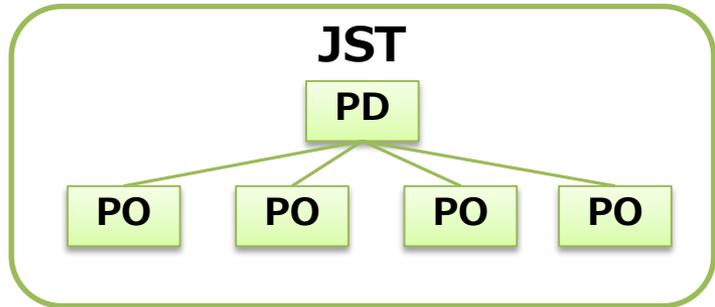
ステージ 支援タイプ	ステージⅡ	ステージⅢ	
	シーズ育成	NexTEP-B	NexTEP-A
採択予定件数	20件程度	若干数	若干数
<b>応募締切</b>	<b>平成29年5月11日 (木) 正午</b>	<b>平成29年6月9日 (金) 正午</b>	<b>随時募集</b>
書類選考	5月中旬～6月下旬	6月中旬～7月下旬	
面接選考	7月中旬～下旬	8月中旬～下旬	
課題選定	8月中旬～下旬	9月中旬～下旬	
研究開発開始	10月1日（予定）	12月1日（予定）	

※ 平成29年度政府予算の成立を前提としており、予算の成立状況によっては、実施スケジュール・実施内容等、変更・調整が必要となる場合があります。

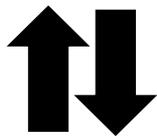
※ 採択予定件数は、課題提案の状況や予算により変動します。

※ **ステージⅠの平成29年度以降の新規課題募集はありません。**

## シーズ育成タイプの仕組み



✓ 各種報告



- ✓ 課題の募集・採択
- ✓ 研究開発の委託
- ✓ 評価の実施
- ✓ 追跡調査の実施

## 産学共同研究チーム



## 課題提案者

- ✓ 企業責任者と研究責任者が共同で提案
- ✓ 企業責任者が課題全体の責任者（プロジェクトリーダー）

## 産学共同研究チーム

- ✓ 複数の企業、大学等の参画も可能
- ✓ JSTは参画する研究開発機関と個別に委託研究開発契約を締結（JST委託費の支出が無い機関は覚書を締結）
- ✓ 産学共同研究チームの参画機関間で共同研究契約を締結

## 支援規模

- ✓ JST支出総額2,000万円～5億円（間接経費含む）  
（マッチングファンド形式）
- ✓ 実施期間：2～6年
- ✓ 選考の結果、フィージビリティスタディを目的に採択する場合もあり（上限2,000万円、1年程度）

## 募集分野について

(採択件数：20件程度)

- ✓ 社会的・経済的なインパクトに繋がることが期待できる、幅広い分野からの研究開発提案を対象。
- ✓ 第1分野から第4分野まで設定し、各々の分野にPOを設置。さらに、各POが重視しているテーマを『プログラムオフィサーの方針』として提示。

分野名	大凡の分野	PO
第1分野	情報通信 電子デバイス	澤 源太郎 (元 NTTコムウェア株式会社 代表取締役副社長)
第2分野	ものづくり	横井 秀俊 (東京大学生産技術研究所機械・生体系部門 教授)
第3分野	機能材料	浜田 恵美子 (元 名古屋工業大学大学院工学研究科 教授)
第4分野	アグリ・バイオ	穴澤 秀治 (一般財団法人バイオインダストリー協会 先端技術・開発部長)

## 概要

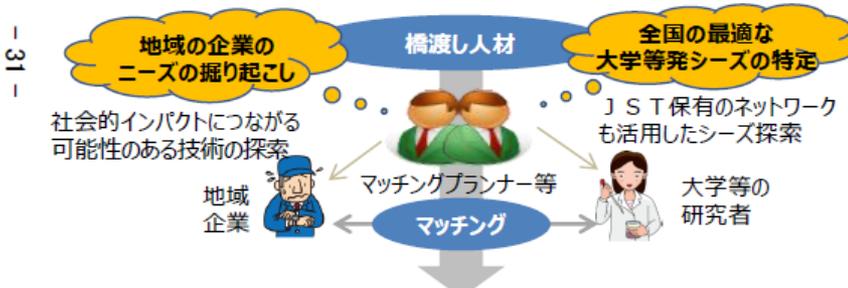
JSTのネットワークを活用し、企業ニーズの解決等に向けて全国の大学等発シーズと地域の企業ニーズとをマッチングプランナー等の橋渡し人材が結びつけ、初期的な研究開発費等を支援する。その際、マッチングプランナーは有力なコア技術のスケールアップに向けた概念実証も含め、共同研究から事業化等に向けた取組に対する評価・分析等を実施する。

## 科学技術イノベーション総合戦略2016 (平成28年5月24日閣議決定)

中小企業のニーズを掘り起こし、大学等の知的財産や技術シーズとのマッチングを進めるとともに、大学や企業等が保有する知的財産の利活用を促進する。

## マッチング等の仕組み

- 地域企業のニーズと全国の大学等のシーズを、マッチングプランナーが広域のネットワークを生かし、最適なマッチングを実施。
- マッチングされたプロジェクトについては、審査を踏まえ事業化に向けた初期的費用を支援。
- 有望な研究成果等については、研究成果等の評価・分析等を通じて、スケールアップや新たな企業等とのマッチング、商品開発、事業化等を目指す段階までを支援。



課題解決・基礎的データ取得等のための費用（300万円/年）支援

## 支援実績と成果例

事業を開始した平成27年度から、平成28年度までに621件を採択。  
※事業期間は最長1年間。

採択回	応募件数	採択件数
第1回	1,133件	260件
第2回	308件	106件
第3回	647件	255件

＜成果例＞ 脳深部用極微細内視鏡イメージングシステムの開発（東北大学）

従来大型・高価だった脳内イメージング装置について、大学の有する脳内イメージングシステムを企業と共同で機器間の結合効率を向上させることで、安価・小型化を達成。可搬性の付与により、検査範囲も拡大。



試作品製作まで達成。今後は、**量産化に向けた試作機の検証を行う実証段階へ。**

平成29年度予算額(案) : 863百万円

(平成28年度予算額 : 863百万円)

\*運営費交付金中の推計額

※本制度は旧マッチングプランナープログラムが改変されたものです。

提案の募集開始	平成29年3月29日（水）
提案の募集受付締切 e-Radによる受付期限日	平成29年5月31日（水） 正午
採択課題の通知・発表	平成29年8月下旬頃（予定）
研究開発開始	平成29年10月1日
支援の目的	企業の競争力強化に資するべく、企業ニーズの解決等のため、大学等を対象に大学シーズを活用した試験研究等を支援します。
申請者の要件	<p>大学等の研究者による申請 ※ 企業への支出（大学等からの再委託）も可能</p> <p>申請には、企業ニーズの内容に関する記載と、研究開発から事業化に至るまでの計画やターゲットとする市場、その社会的インパクトや波及効果等について、コーディネータ、ニーズ企業担当者、マッチングプランナー等いずれかの見解が必要です。 ※府省共通研究開発管理システム（e-Rad）による電子申請となります。</p>
研究開発期間	1年間
研究開発費の総額	<p>基準額300万円（間接経費を含む） なお、1,000万円（基準額と超過額の合計）を上限として基準額を超える申請が可能です。</p>

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)

ご清聴ありがとうございました

内線 7273

[urac@ml.tuat.ac.jp](mailto:urac@ml.tuat.ac.jp)